

# 「サイエンスアゴラ2026」出展企画 募集要項

9 / 12<sub>(土)</sub> ~ 13<sub>(日)</sub>

開催日時 10時~17時

ブース:100企画・オープンスペース:30企画程度  
搬入:9/11[金]午後、搬出:9/13[日]17時以降  
会場:テレコムセンタービル 他(お台場 青海地区)

オンライン募集説明会

4/16 (木) 16~17時

事前申し込み不要。参加URLはサイエンスアゴラ公式サイトでご確認ください。

★応募締切：5/14[木] 正午(日本時間)

★採択通知は6月中旬頃を予定

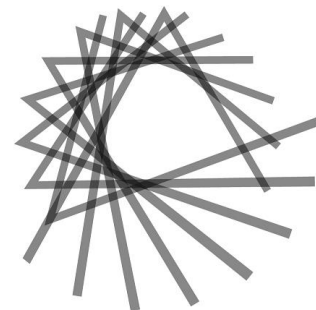
## サイエンスアゴラのビジョン 科学とくらし ともに語り 紡ぐ未来

サイエンスアゴラは、「科学とくらし ともに語り 紡ぐ未来」をビジョンに掲げ、科学と社会をつなぐオープンなコミュニケーションの場を提供しています。ここでは、多様な視点を持つ人々が集い、自由に意見を交わす「開かれた場」として、誰もが問いを持ち寄り、対話を通じて共に考え、未来社会を描くことを大切にしています。

科学技術は、単なる理論や知識にとどまらず、私たち一人ひとりの暮らしを豊かにし、社会を発展させる力を秘めています。科学技術が持つ無限の可能性と、それに伴う課題について、わかりやすく、楽しく、そして深く伝えることこそが、より良い未来社会の実現へ向けた第一歩となります。

サイエンスアゴラでは、このビジョンをさらに深め、暮らしや社会と科学との繋がりを意識した企画を広く募集します。科学を「楽しむ」だけでなく、進化し続ける科学技術が私たちの生活に与える影響や、そこから生まれる可能性や課題について参加者と共に考え、未来社会に向けた新たな視点を共有する場を創りましょう。

皆様のエントリーを心からお待ちしております。



SCIENCE AGORA

サイエンスアゴラ2026主催:科学技術振興機構(JST)

担当部署:社会技術研究開発センター(RISTEX)

# ■目次

サイエンスアゴラとは .....	3	公募から開催までのスケジュール .....	16
これまでの活動 .....	4	推進委員会による審査のポイント.....	17
来場者の属性など(サイエンスアゴラ2025) .....	5	サイエンスアゴラ2026推進委員会 .....	19
出展者の声.....	6	2025年推進委員からのご意見 .....	20
昨年からの変更・改善点 .....	7	公式Webサイトへの掲載情報 .....	21
サイエンスアゴラ2026 開催概要 .....	8	企画の難易度表記及びジャンル分け.....	22
出展形式.....	9	企画の詳細ページ作成.....	23
会場全体イメージ(テレコムセンタービル) .....	10	人が集う企画づくりと情報発信.....	24
ブース(基本仕様) .....	11	出展者の交流促進.....	25
オープンスペース(基本仕様) .....	12	出展レポートの提出.....	26
オープンスペース(タイムテーブル案).....	13	(参考)有料物品について.....	27
基本レイアウト(3~5階) .....	14	応募の手順 .....	28
応募条件.....	15	応募申請フォームへの記入.....	29

ご不明な点は、**サイエンスアゴラ運営事務局**([info-agora2026@tsp-taiyo.co.jp](mailto:info-agora2026@tsp-taiyo.co.jp))までお問い合わせください。後日、SNSや公式ウェブサイトに必要な質問と回答をまとめて掲載します。  
**また、4月16日(木)16時~オンラインで募集説明会を開催します(事前申し込み不要)。参加用のURLは、サイエンスアゴラ公式サイトでご確認ください。**

# ■サイエンスアゴラとは

※アゴラ(agora)は古代ギリシャ語で「広場」の意味

サイエンスアゴラは、「科学」と「社会」の関係をより深める目的で、様々な立場の人たち(小中高生も含む市民、科学者・専門家、メディア、産業界、政策決定者など)が情報共有・対話を行うオープンフォーラムです。

出展者・来場者共に年代・セクターを超えた多様な人々が集い、比較的専門的なことが議論されるセッションから、対話型の展示やワークショップなど、様々な企画が集まります。

科学技術の楽しさを伝えて興味関心を喚起することに加え、科学技術をめぐる様々な課題や今後の社会の未来像についても考えられる、多様な人々が集う場を目指しています。



# ■これまでの活動

2006年から開催しているサイエンスアゴラは、様々な関係者の試行錯誤によって発展してきました。発足当初は科学コミュニケーションの理念を社会に認知してもらうための活動が主でしたが、時代と共にコンセプトが変わり、**2022年からは「共創」や「総合知」により未来を考える場と位置づけています。**

サイエンスアゴラは  
これからも  
進化し続けます

## 草創期 (2006年～2009年)

- サイエンスが社会と交流し対話する広場
- サイエンスを担う多様な人々への対話を促す広場
- 日本中のサイエンスコミュニケーター達が集い議論する広場

## 第一次変革期 (2010年～2013年)

- 各地のサイエンスコミュニケーション活動の環をつなぐ場となり、多様なセクターが自律的に活動するネットワークへと発展
- 「伝える」とともに「つくる」へ広げる
- 多様な科学コミュニケーション活動の「見本市」として全国各地域の科学コミュニケーションを活性化

## 第二次変革期 (2014年～)

- 日本最大級の科学イベント
- あらゆる人に開かれた科学と社会をつなぐ広場
- 科学とともにある社会をつくろうと「行動している人」が集まり、お互いの活動に関心を持ち、仲間を募り、それぞれの活動を発展させていく場
- 社会とともにある科学、科学とともにある社会

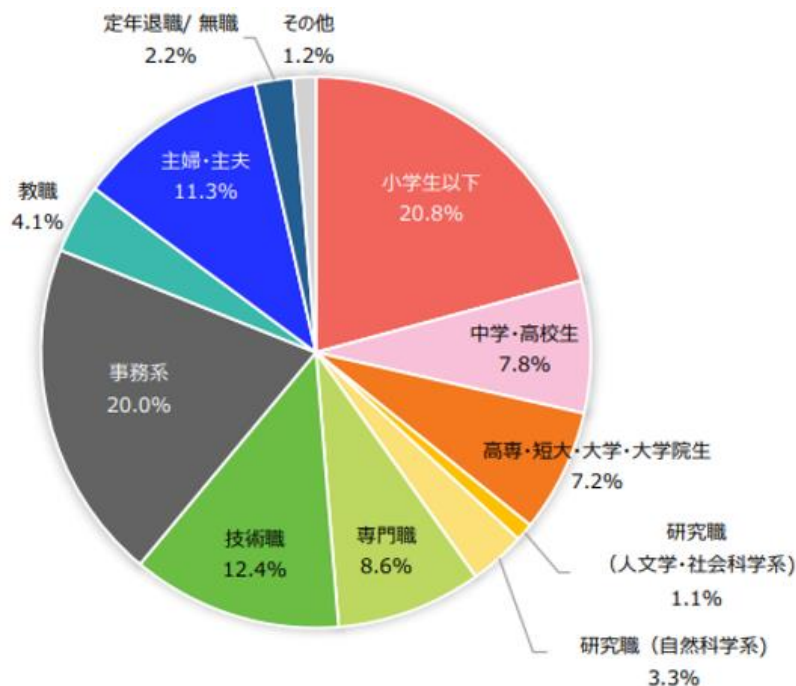
## サイエンスアゴラの活動要件

- ✓ 社会とともにあること、社会のためにあること
- ✓ 科学技術に関すること
- ✓ 自発的であること
- ✓ 多様な人とのつながりと対話を大切にすること
- ✓ 公開の場で対話できること

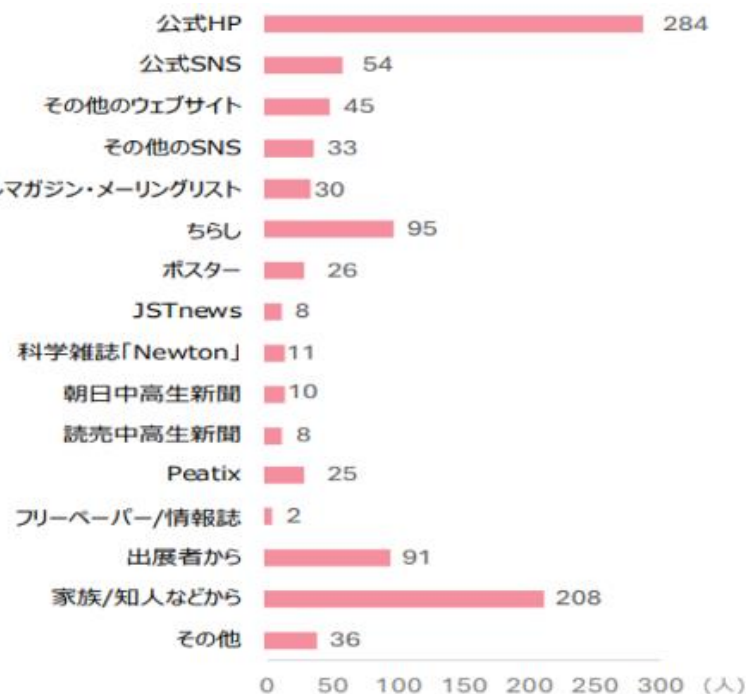
「総合知」とは → <https://www8.cao.go.jp/cstp/sogochi/index.html>

# ■来場者の属性など(サイエンスアゴラ2025)

来場者の属性(職業別)



アゴラを知ったきっかけ(複数選択可)



- 小学生以下を含む大学までの次世代層の来場者が約36%
- 公式HP、家族・知人から、出展者からが主な情報源。約5割が初めて来場

～来場者の声～

- 「研究者・学生の説明が分かりやすく、熱意が伝わる」
- 「普段触れない分野の科学に触れられて刺激的」
- 「子どもが楽しめる体験型ブースが充実している」
- 「今後の進路選択の幅を広げることができ、たくさんの人から多くの知識を得られた」
- 「難易度表示(🌶️)が分かりやすい」

## ■出展者の声(※昨年の出展者アンケートより)

### ★サイエンスアゴラでの新たな出会いなど、具体的なエピソードについて

- 来場された高校生と、発表した自主研究に取り組む学部生らとの交流が生まれた。
- 論文でしか知らなかった方にお目にかかれて議論ができた。
- 同じ学生団体との交流を経て、合同でプログラムを実施する運びとなった。
- 紹介した研究内容に関して、応用研究への意見を聞くことができた。
- ブース展示に足を運んでくれた高校生が我々の研究内容に興味を持ってくれた。
- 大学の志望校選びの参考にするとのことなので、今後我々と同じ研究に関わってもらえる可能性もあり、我々にとって新たな仲間との出会いとなった。
- イベント内で行われた参加者との会話を通じて、現行の研究の新しい可能性への示唆を得ることができた。
- 今後、同様の取り組みを行うことを希望される研究機関や企業の担当者との新たな出会いがあった。
- 専門家からのやや実現不可能なアドバイスではなく、科学に興味のある一般の方と同じ目線かつ可能なレベルで応用展開を議論できたのが良かった。
- 他大学の教授の方に興味を持って頂き他の展示会などに誘って頂いた。
- 社会課題を科学技術で解決しようとする多くの来場者と考えや意思を共有できたことは、非常に重要な機会となった。

# ■ 昨年からの変更・改善点

出展者の声

- ジャンル名が抽象的。出展者が自己申告で選ぶ仕組みだと、主催側意図とのズレが生じやすい
- 出展者交流会は、ピッチトークのみではなく、出展者同士が交流できる場を設けて欲しい
- Peatixに掲載できる情報は限りがあるので、随時更新可能な自社サイト等へのリンクを掲載して欲しい

来場者の声

- フロアマップを大きく掲示して欲しい
- サイトなどで、予約／整理券の有無が一目で分かるようにして欲しい
- テレコムセンターのフロアの混雑具合が偏っていた
- AI技術に偏っている印象。宇宙・農業・気象系など幅広い分野のコンテンツを増やして欲しい

- 
- ①審査強化ポイント >>> 来場者との「対話」を重視し、双方向のコミュニケーションが図られているかという観点で審査を強化します。単なる情報発信に留まらず、対話を通じて新たな気づきや学びを生み出す場づくりを目指し、科学イベントとしての質の強化を図ります。
- 
- ②Webサイト:企画の詳細ページ作成 >>> 各出展者にて企画の詳細ページを作成いただき、公式Webサイトよりリンクを張る形式とします。これにより、独自の紹介ページづくりが可能となります。⇒詳細は23ページ参照
- 
- ③出展者の交流促進 >>> 出展者同士の交流促進にむけ、応募者からのご要望・ご意見を募ります。また、出展者が見学できる時間帯の設定などを検討しております。⇒詳細は25ページ参照
- 
- ④回遊性の強化 >>> 会場マップの改善や多様なブースを訪問する仕掛けづくりなどにより、来場者の滞留を防ぎ、回遊性の向上を図ります。
- 
- ⑤次世代の出展歓迎 >>> 昨年に引き続き、次の時代を担う中学生・高校生・高専生が主体となった出展を歓迎します。

※その他の来場者からのご意見についても、対応を検討して参ります。

# ■サイエンスアゴラ2026 開催概要

開催日

2026年 9月12日 (土) >>> 13日 (日)

- 開催場所 テレコムセンタービル、他  
(東京・お台場 青海地区)
- 企画数 ブース:100企画程度  
ワークショップ/セッション:30企画程度
- 主催 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)



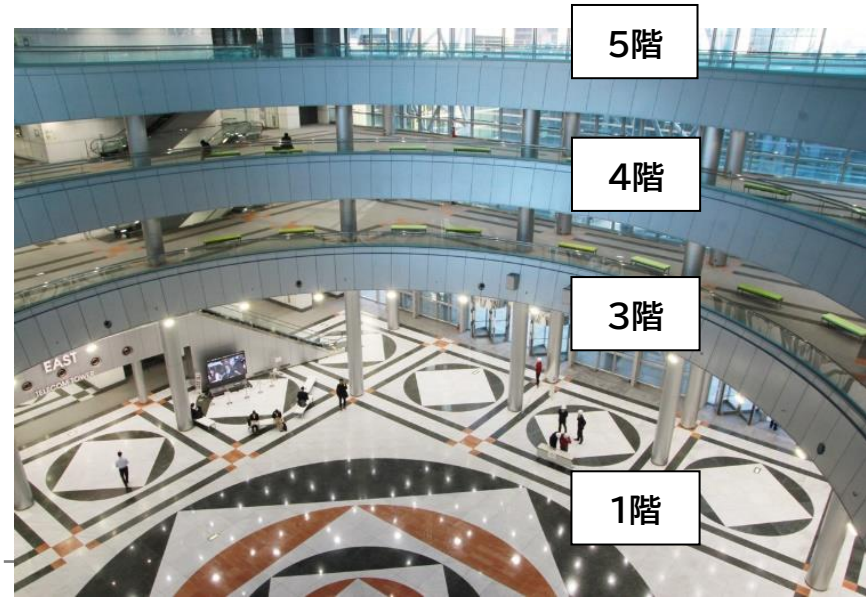
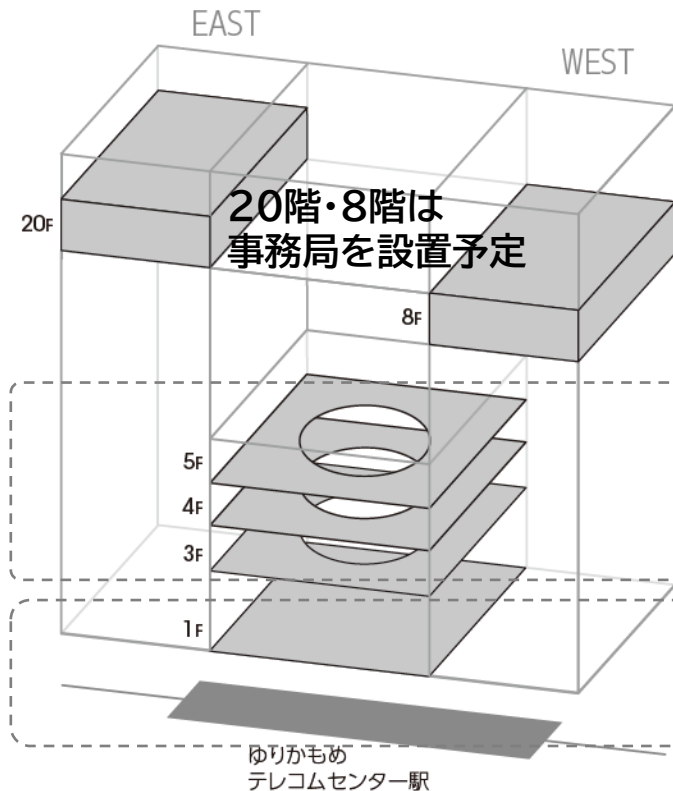
# ■出展形式

詳細は次ページ以降に記載しています。オープンスペースのタイムスケジュールやブースの配置は、推進委員会および主催者が決定するため、場所や時間を選ぶことはできません。

<p><b>ブース</b> 終日各種展示ができるスペースでの企画実施を想定 (※無人ブースは認められません) 1小間につき、幅3m×奥行き3m×高さ2mで設営</p>	<p>2日間の連続出展</p>	<p><b>出展は2小間までとします。</b> <b>1小間の出展は無料</b>、2小間目は有料&lt;2万円(税込)&gt;となりますが、審査の結果、希望小間数が確保できないこともあります。</p>
<p><b>オープンスペース</b> 90分以内のワークショップやセッションなどの企画実施を想定。幅10m×奥行き4m×高さ2mで設営</p>	<p>60分or 90分の枠内で出展</p>	<p>60分 or 90分1枠の出展は無料。日時や場所を選ぶことはできません。 ※各日15企画予定</p>

なお、企画実施・出展に必要な交通費や事務費用などの諸費用は、出展者負担です。

# ■会場全体イメージ(テレコムセンタービル)

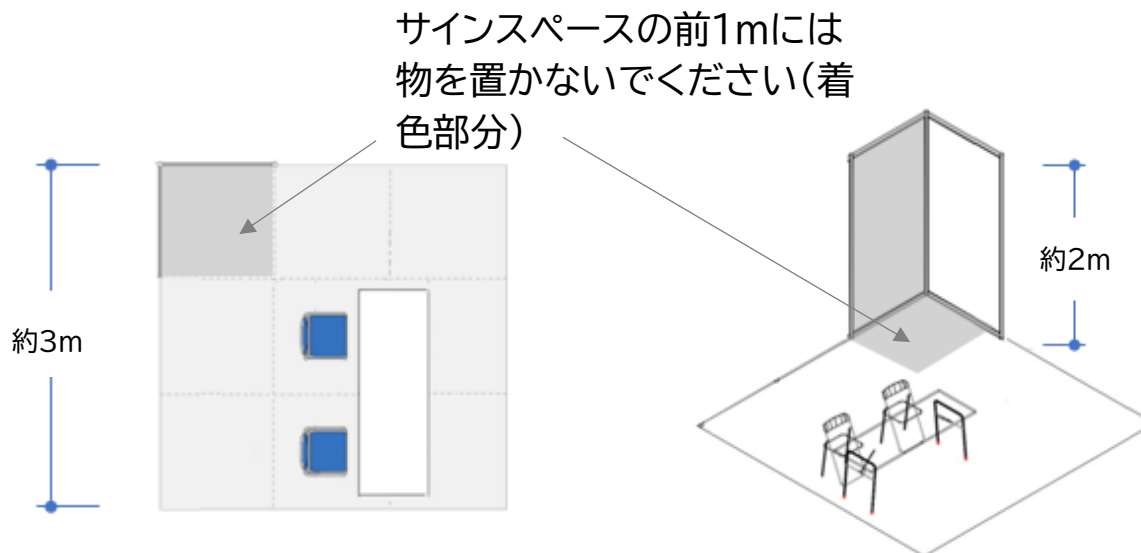


3～5階 ブース、オープンスペース、案内所

1階 総合受付、ブース、オープンスペース、アンケート回収所、Share Wall\* 等

※Share Wall:サイエンスアゴラでの体験や対話を通じて、科学技術や未来社会像について考えたこと、驚いたこと、感動したことなどを付箋に書いて貼っていただく。

# ■ブース(基本仕様)



サイン表示のイメージ  
(企画番号・タイトル・出展者名、  
企画難易度アイコン等を記入予定)

## 基本設備 (1小間)

- ・間仕切り壁面(システムパネルW990×H2100で構成)  
※壁面への画鋲や釘の使用、現状復帰できない接着剤等での貼り付けは禁止。  
パネルの設置に必要なチェーン等をご持参ください
- ・テーブル(W1800×D600×H700)×1台
- ・パイプイス×2脚
- ・2口コンセント×1台
- ・サイン(サインスペース(出展者名などを記入)の前1mには物を置かないでください)

※2小間の出展の場合、基本設備の個数は倍になります  
※ブースの外側の壁にポスター等を掲示することはできません

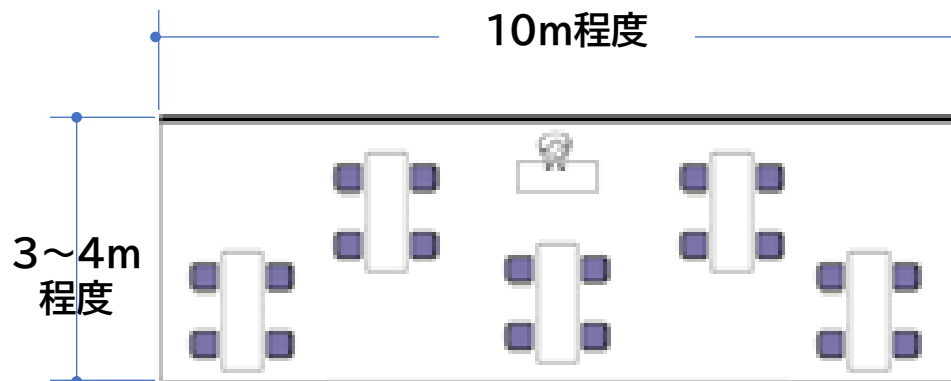
## ■オープンスペース(基本仕様)

基本設備にない物品は有料で手配できます(27ページ参照)。なお、状況により仕様が変更になる場合があります。

・テレコムセンタービル1階、3～5階に設置される、来場者との距離が近い企画実施が可能です。トークセッション形式、ワークショップスペースとしても利用できます。

・階数を指定することは出来ませんので、ご了承ください。

・1階のモニターは180インチ、3～5階のモニターは60インチです。



### 3～5階基本設備

- ・60インチ液晶モニター×1台
  - ・有線ハンドマイク×2本
  - ・演台(W1200×D600×H940)×1台
  - ・イス×30脚 (1階は36脚)
  - ・テーブル×5台 (1階は6台)
  - ・2口コンセント(演題PC用500Wまで)×1個
- ※液晶モニター・マイク等音響で使用する電気は、標準設備に含まれます

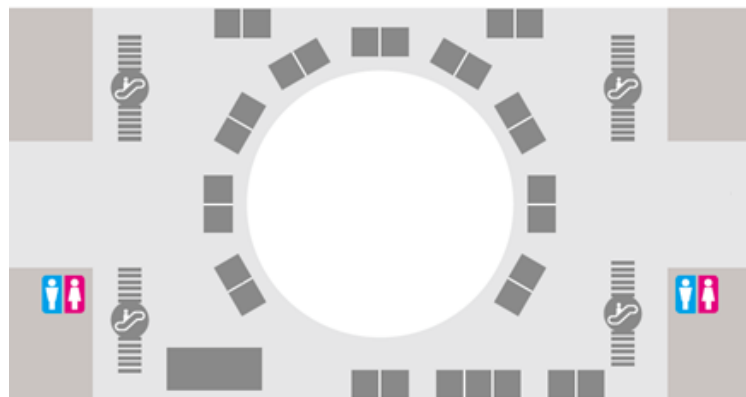
# ■オープンスペース(タイムテーブル案)

オープンスペースでの企画実施数と開始時刻は目安です。

(応募状況によってはオープンスペースの配置箇所が少なくなることもあります)

オープンスペース				
	1階	3階	4階	5階
10時				
11時	企画実施 (対話込み90分以内)	企画実施 (対話込み90分以内)	企画実施 (対話込み90分以内)	企画実施 (対話込み90分以内)
12時				
13時	企画実施 (対話込み90分以内)	企画実施 (対話込み90分以内)	企画実施 (対話込み90分以内)	企画実施 (対話込み90分以内)
14時				
15時				
16時	企画実施 (対話込み90分以内)	企画実施 (対話込み90分以内)	企画実施 (対話込み90分以内)	企画実施 (対話込み90分以内)

## ■基本レイアウト(3～5階)



ブースは吹き抜けを取り囲んで1フロアあたり26企画程度を配置予定

注)吹き抜けからの落下物がないようご注意ください。

手すりに物をかけることはできません

※図は公募時の基本配置案です。状況により変更となります  
5階は壁に沿ってブースが並ぶレイアウトを予定

各階に、ワークショップ等セッション系企画(90分以内)が実施できるオープンスペースを設置(レイアウトは未定)

※公募によるセッション・ワークショップ企画を予定しています

なお1階は、総合受付、ブース、セッション・ワークショップ用のオープンスペース、アンケート回収所、Share Wall等を配置する予定です。

# ■応募条件

1. 科学技術に関するもので、社会とのつながりを意識し多様な人と公開の場で対話できること
2. 採択後のSNS告知を含め、企画の開催告知や集客ができること
3. 企画の詳細ページを作成できること
4. 会期後1週間以内に、出展者アンケート及び公式Webサイトで公開するための出展レポートを運営事務局に提出できること
5. (ブース企画対象)常時1名以上、説明できる方がブースに常駐できること

※SNS告知は24ページ、企画の詳細ページ作成は23ページ、出展レポートは26ページを確認してください。

## 【注意事項】

- ・ブース出展は、無人ブースや17時の終了時刻より前に撤収することは認められません。
- ・各種提出物は×切がありますので、期限に遅延がないようにしてください。
- ・別途提示する会場の利用規約や本イベントの運営ルール(出展者マニュアルに記載)を順守してください。

※これらのルールに違反した場合、翌年以降の出展が認められない場合がありますので、注意してください。

# ■公募から開催までのスケジュール

募集要項公開	2026年4月9日(木)
応募受付開始	2026年4月15日(水)
募集説明会の開催	2026年4月16日(木) 16時~17時
公募〆切	<b>2026年5月14日(木)正午(日本時間)</b>
採択通知	2026年6月中旬
出展同意書の提出	2026年6月下旬まで(※採択通知後1週間以内)
サイエンスアゴラ2026 特設Webサイトオープン	2026年7月中旬
出展者マニュアルを提供 出展者説明会の開催	2026年7月中旬
出展調査票の提出	2026年7月下旬まで
出展企画詳細ページ作成(※URLの提出)	2026年8月上旬まで
会場への搬入	2026年9月11日(金)午後
サイエンスアゴラ2026開催	2026年9月12日(土)~13日(日)
出展者アンケート・出展レポートの提出	2026年9月20日(日) まで

※こちらは現時点(2026.3月末)での予定のため、今後スケジュールが変更になる場合があります。

# ■推進委員会による審査のポイント

応募企画は、以下の観点に基づき「サイエンスアゴラ2026推進委員会」が審査します。例年多くの企画をご応募をいただいておりますが、会場のキャパシティや安全面も考慮し、適宜審査内容を見直しています。特に過去に出展実績がある場合、これまでの出展内容からの工夫や改善点を踏まえ審査しますので、以下のポイントに留意し具体的に記入してください。

なお、推進委員の評価が高い企画等は、注目企画として、公式ウェブサイト等で優先的に紹介します。

<p>①目的意識の 明確性</p>	<p>この企画が社会とどう結びつき、どのような課題解決や価値を生み出すのかを意識した上で、出展者が「<u>来場者との対話を通じて何を得たいか</u>」、「<u>来場者に何を提供できるのか</u>」といった目的を明確に示しているか。</p>
<p>②ターゲット層 に合わせた 内容設計</p>	<p>企画に参加してもらいたい「<u>ターゲット層に合わせた設計</u>」ができているか。もしくは幅広い層の来場者を想定し、「<u>レベルや関心度に合わせた体験・対話ができるような工夫</u>」があるか。</p>
<p>③挑戦性・ 独創性</p>	<p>新しい視点やアイデアに基づき、独自の発想や工夫を取り入れることで、「<u>目的に合致した『驚き』や『感動』を与える工夫</u>」があるか。また、過去に出展実績のある団体については、「<u>従来の手法や発想にとらわれず、新たな試みに積極的に挑戦</u>」しているか。</p>

# ■推進委員会による審査のポイント

<p>④対話への姿勢・双方向性</p>	<p>積極的に対話を促し、「<u>気づきを与えるための工夫</u>」や、「<u>双方向性の意識</u>」があるか。</p> <p>(例:アイスブレイクとしての問いの設定や、意見を付箋に貼るボードなど、来場者を巻き込みながらその出展テーマについて考えるきっかけを提供しているか)</p> <p>※なお、一方的な事業・技術紹介やアウトリーチにとどまっており、双方向コミュニケーション性に欠けているもの、また理科実験や工作に終始しており、子供向けの科学教室の域を出ていないものは不可。</p>
<p>⑤集客方法・広報計画</p>	<p>企画に参加してもらいたいターゲット層に対して、「<u>独自の集客方法</u>」や「<u>具体的な広報計画</u>」を記入しているか。なお、アゴラを含むイベント出展時における集客実績があれば記入すること。</p> <p>特に、オープンスペース企画については、当日その場での飛び入り参加を期待することが難しいため、事前登録の有無や事前集客、当日に参加者を呼び込むための具体的な広報計画・広報ルートを記入すること。</p> <p>(例:オープンスペースで中高生をターゲットにしたセッションを実施。○人が所属する△△メーリングリストに企画の案内を数回配信予定。××フェスティバル2025では、サイエンスカフェや学校の科学クラブに案内を配布し、団体参加を呼びかけ50名の集客を達成)</p>
<p>⑥内容構成</p>	<p>オープンスペース:「<u>時間配分や構成、配付資料等が適切で来場者を飽きさせない工夫</u>」があるか。</p> <p>ブース:「<u>来場者を惹きつける視覚的な工夫</u>」や、「<u>実際に手を動かして体験できるなどの工夫</u>」があるか。</p>

# サイエンスアゴラ2026推進委員会

※JST以外は50音順、敬称略



**五十嵐 美樹**(東京都市大学 教育開発機構 准教授)



**上村 遥子**(SUNDRED株式会社 チーフエバンジェリスト/コミュニティデザイナー/パートナー)



**亀岡 嵩幸**(九州大学 芸術工学研究院 メディアデザイン部門 助教)



**川越 至桜**(東京大学大学院 情報学環 /生産技術研究所 教授)



**重藤 さわ子**(事業構想大学院大学 教授)



**本多 達也**(富士通株式会社 コンバージョンテクノロジー研究所 ソーシャルテクノロジー社会実装推進室 Ontennaプロジェクトリーダー)



**榎 太一**(同志社大学 ハリス理化学研究所 専任研究所員(助教))



**次田 彰**(JST 理事)



**伊藤 洋一**(日本科学未来館 副館長)

# ■2025年推進委員からのご意見

昨年の推進委員の視察のご意見をまとめました。審査のポイントと共に参考にして下さい。

## 良かった企画の例

- 高校生たちが、開発したものをただ披露するだけでなく、開発に至る思いを伝えたり、対話しながら生徒自身が新たな気づきを得ている様子が印象的だった。
- 昨年度のカードゲームが難しすぎたため、今回は難しいものとやさしいものの2種類を用意するなど、前年の課題に対応されていた。
- 難しい原理を3Dプリントで手軽に触れられる形で体験させている。
- 磁石とコイルを用いた振動発電を分かりやすく体験的に学べる展示で、出展者の熱意や工夫が伝わってきた。

## 改善が必要な企画の例

- 説明員が、自分たちの出展内容のことを知らなさすぎて、対話にならないブースや、学会など専門家向けのポスターをそのまま使っていて、対話になりづらいブースがあった。
- 卒論テーマに関連したアンケート取得が目的であるようなブース、パンフレットの配布に終わっていたブースがあった。
- 双方向性を意識してワークショップ形式を提案したが、占める面積の割りに関われる人数が少ないのは課題だと感じた。聴衆に見せるなら、不安定な手持ちハンディカメラよりも、その場でスキャンしてモニターに大きく映し出すなどの工夫があった方が良かった。

# ■公式Webサイトへの掲載情報

- 企画タイトル
- 出展者の名称
- 企画紹介文(100文字以内)
- 企画の難易度 \*次ページ参照

## 【企画紹介文】

「企画に参加すると、どんなメリットがあるのか?」など、企画の魅力を100文字以内で伝えます。

あなたの提供する情報や技術がどのような課題を解決するのか、どのように役立つのかを簡潔にまとめてください。

※文章の中に「ターゲットコピー」を入れると効果的です。

<100文字広報文の例>

**中高生必見！AIで未来の防災を考えよう！**




AIを活用した災害予測ってどういう仕組み？シミュレーション体験を通じて、私たちの暮らしを守る最新技術を学べます！防災×テクノロジーに興味がある人、ぜひ参加してね！

# ■ 企画の難易度表記及びジャンル分け

## 【企画の難易度表記】

サインスペースに企画の難易度(自己申告)をアイコンで表記し、来場者が企画に参加する際の目安となるようにします。以下の選択肢から、難易度表記を選んでください。

### 難易度表記

-  : まろやかでやさしい味わい、予備知識ゼロでも安心。子供から大人までまずはひとくち、科学の世界を召し上がれ
-  : もう一步踏み込んで、科学の面白さをより詳しく知りたい、味わいたい方に。好奇心がじわっと広がります
-  : 専門的な内容をじっくりと、知的好奇心にビリッと刺激を。本気の科学トークに挑む覚悟はOK?

サイン表示のイメージ



以下の内容をガイドブックや会場に掲示する予定です。

- ・ 各企画には、出展者による自己申告の難易度を表記しています。
- ・ その分野に詳しい方にとっては初歩的でも、新しく学ぶ方には難しく感じる場合があります。
- ・ 目安としてご活用いただき、ご自身の興味や関心に合わせてご参加ください。

## 【ジャンル分け】

企画タイトル及び出展者より提出されたキーワードをベースにジャンル分けを行い、推進委員会にて各出展内容の特性や他の企画との関連性を考慮したキュレーションを実施します。企画の内容を表すキーワードを3つ以内で提出してください。

# ■企画の詳細ページ作成

## 【昨年】

各出展者より事前に掲載情報を送付いただき、運営事務局にてPeatix上に詳細ページを作成



## 【今回】

各出展者側で独自に詳細ページを作成いただき、公式サイトの企画一覧よりリンクを張る形式

### <メリット>

- ・形式に依存せず、自由なページ作りが可能  
(自団体のホームページ、Peatix、Note 等)
- ・臨機応変に内容変更が可能  
運営事務局を介さないなので、会期直前まで掲載内容の変更が可能

# ■人が集う企画づくりと情報発信

情報発信の際にはインターネットを有効活用してください。情報の拡散にはSNSが効果的です。ウェブサイトとSNSを組み合わせる情報発信も検討してください。

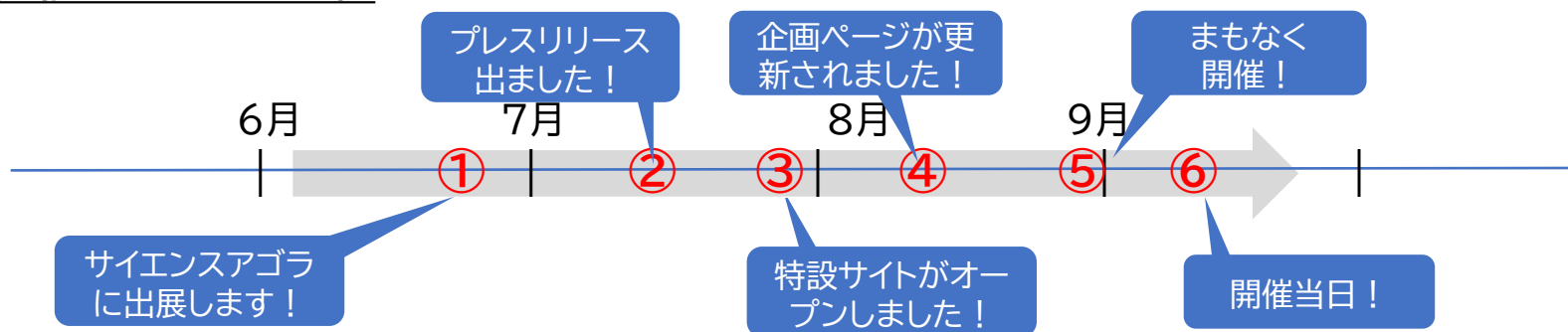
注)・SNSで情報発信を行う際は、「#サイエンスアゴラ2026」のハッシュタグを付けてください。

・主催者側でもSNSで情報発信しますので、積極的にフォローやいいね、リポスト等をしてください。

皆さんが同じ時期にSNSへ投稿し、盛り上がりを作ることで、サイエンスアゴラに興味を持ってもらえそうな人へ情報が届きやすくなります。

※SNSアカウントをお持ちでない方は、作成を検討してください。

## <発信のタイミング例>



# ■出展者の交流促進

出展者同士の更なる交流を図ることを目的とし、以下の交流促進施策を検討しています。

## 【見学タイムの設置】 ※検討中

出展者同士が、それぞれの企画を見るための「見学タイム」の設置を検討しています。是非出展者間で交流を図ってください。

## 【出展者交流会】

会期初日(9/12)の夕方に、「出展者交流会」の開催を予定しています。内容につきましては、応募者の皆さまからのご要望も踏まえ決定しますので、応募申請フォームの該当項目に記入してください。

## ★「応募申請フォーム」への記載項目

### ○参加の意思

参加 / 不参加 / 未定

### ○開催時間

～1時間 / 1時間～1時間半 / 1時間半～2時間

### ○内容に関して

希望する内容／コンテンツ等 ※自由記述

例) 出展プログラム紹介(ピッチトーク)、飲食付きの懇親会(参加費あり)、イベントの開催(研究者との対話、質問コーナー) 等々

# ■出展レポートの提出

会期終了後1週間以内に、ウェブサイトで公開するための出展レポートを運営事務局に提出してください。

## ●レポート内容

(※昨年の例ですので、変更の可能性あり)

### ○話し合った未来像

・来場者との「対話」により、見えてきた未来像 等

### ○セッション／ブースでの意見・論点

・来場者からの意見や話し合ったテーマ 等

### ○セッション／ブースでのキーワード

・出展内容に関して必要と感じたキーワード

### ○来場者との対話から得られたこと・今後に活かせること

・出展内容に関して、来場者との「対話」により、新たに得られた知識や感じたこと、及び今後の取組みに活かせる知見やアイデア 等

### ○当日の様子ที่わかる写真など

(注:来場者が映っている場合は、許諾が取れているものを提出してください)

## ＜ウェブサイト掲載イメージ＞

### ✂ 出展レポート

#### 話し合った未来像

- ・聞こえに関わらず、誰もが一緒に暮らせる社会を作る。
- ・そのためには、「聞こえる人」が「聞こえない」「聞こえにくい」ことを体験し理解する必要がある。そのため、今回はそれを体験するためのコンテンツを制作し展示をする。また、子どもから大人までが楽しく体験できるようにする工夫をする。
- ・新しい技術を活用した「補聴支援システム」を導入することにより、駅、空港、ホール、学校、病院といった音声によるアナウンスを行っている場所で、聞こえない、聞こえにくい人々も情報が入手できる社会を目指す。日本で初めてとなるAuracast™とWi-Fiによるハイブリッド技術による補聴支援システムを開発し、展示を行い、聞こえる人にも、聞こえにくい人にも体験をしていただく。また、聞こえない方々には字幕を表示することも可能で、全ての人に音声情報を届けることが可能になる。

#### 意見・論点

- ・体験コンテンツで紹介している「カクテルパーティー効果」を知らなかったという意見が多かった。カクテルパーティー効果とは、聞こえる人が雑音下でも相手の声を聞き取ることができる現象で、補聴器や人工内耳を装着している場合は、このような現象が得られにくいため、会話をしても相手の声を聞き取るのが困難である。
- ・手話を勉強する機会がこれまでなかったが、今回動物の手話を覚えることができ、手話の楽しさを知った。
- ・手話を覚えると、遠く離れていたり、ガラス越しであっても会話ができることを知った。聞こえる人でも手話が使えると便利であることが分かった。
- ・Auracast™など、新しい補聴支援の技術があることを知らなかったが、とても便利だと感じた。駅や空港などに普及することが望ましい。聞こえる人やインバウンド対応としても便利だと感じた。

#### キーワード

インクルーシブ、手話、補聴支援システム、カクテルパーティー効果、聴覚障害理解

#### 来場者との対話から得られたこと・今後に活かせること

- ・聴覚障害について知りたいが、知る機会があまりないため、このような体験コンテンツがあると良い
- ・新しい技術を活用した補聴支援システムが、もっと社会に普及すると良いと考えた人が多かった
- ・子どもたちは、指文字や手話を楽しく覚えていた
- ・子どもたちは、聞こえない、聞こえにくい人のことを知る機会が全くない場合が多い



# (参考)有料物品について

基本備品にない物品は有料で手配できます。有料物品の申請については、7月下旬頃に提出いただく出展調査票にて申請してください。なお、内容・価格は変更になる場合があります。

<p><b>1</b> パイプイス W420×D420×H780 SH(座面):430mm</p>  <p>¥880</p>	<p><b>2</b> テーブル 1:W1800×D600×H730 ¥3,850 2:W1200×D600×H730 ¥3,300</p> 	<p><b>3</b> 丸テーブル Φ750×H700</p>  <p>¥5,500-</p>	<p><b>4</b> ユニットカウンター W900×D450×H800</p>  <p>¥8,800</p>
<p><b>5</b> カウンターチェア 350×SH450 ※背付き</p>  <p>¥4,400</p>	<p><b>6</b> 白布 2800×1600</p>  <p>¥1,650</p>	<p><b>7</b> イーゼル W580×H1500</p>  <p>¥4,950</p>	<p><b>8</b> 卓上カタログスタンド W230×D200×H415 A4サイズ 縦3段</p>  <p>¥3,850</p>
<p><b>9</b> カタログスタンド W250×D550×H1700 A4サイズ 縦12段</p>  <p>¥6,600</p>	<p><b>10</b> 三つ折りパーテーション W1800×H1730</p>  <p>¥13,750</p>	<p><b>11</b> 追加コンセント(2口)</p>  <p>¥4,950(配線費込)</p>	<p><b>12</b> 追加電気使用(0.5kW毎)</p> <p>+0.5kW ¥6,600 +1.0kW ¥9,900 +1.5kW ¥13,200</p> <p>※申込は最大1.5kWまで ※コンセントは2つに分けさせていただきます</p>
<p><b>13</b> 液晶ディスプレイ 42インチ液晶ディスプレイ</p>  <p>※電源(コンセント)は別途 ※消費電力:100V300W ※モニター本体から音声出力可</p> <p>¥88,000</p>	<p><b>14</b> 液晶ディスプレイセット 42インチ液晶ディスプレイ DVDプレイヤー・ラック・ スピーカー付</p>  <p>※電源(コンセント)は別途 ※消費電力:100V300W</p> <p>¥154,000</p>	<p><b>15</b> プロジェクター・スクリーンセット</p>  <p>※電源(コンセント)は別途 ※消費電力:100V278W ※投射距離(100インチの場合) 3.9m~4.4m</p> <p>¥165,000</p>	<p><b>16</b> ナレーションセット</p>  <p>有線マイク(スタンド付)×1 スピーカー(スタンド付)×1</p> <p>※電源(コンセント)は別途 ※消費電力:100V35W</p> <p>¥33,000</p>

# ■応募の手順

サイエンスアゴラ公式サイトから**[応募出展管理システム\(Q-PASS\)](#)**にアクセスし、必要事項を記入してください。ご不明な点はサイエンスアゴラ運営事務局([info-agora2026@tsp-taiyo.co.jp](mailto:info-agora2026@tsp-taiyo.co.jp))にメールでご連絡ください。

1企画につき1件の応募申請フォームを申請してください(※2企画の場合、応募申請フォームは2件申請が必要です)。数多く申請しても採択の確率が高まるわけではありませんので、全て採択された場合に実施できる範囲で申請してください。

<https://www.jst.go.jp/sis/scienceagora/>

サイエンスアゴラでは以下のルールに沿って企画タイトル等を表します。

- ルール(1) 法人格(国立大学法人、株式会社、特定非営利活動法人など)はすべて省略
- ルール(2) 法人名・機関名と部署名の間にはスペースを挿入。部署名が複数続く場合は、見やすさの観点から適宜、スペースを挿入
- ルール(3) 記号(丸括弧() かぎ括弧「」 中点・句点。読点、感嘆符！ 疑問符？ チルダ～ など)はすべて全角で記入
- ルール(4) 企画タイトルにサブタイトルがある場合の表記は以下の通りとする  
主タイトル 半角スペース チルダ サブタイトル チルダ  
例)光の色彩 ～視覚で楽しむ炎色反応～
- ルール(5) ① タイトル全体がかぎ括弧「」などで囲まれている場合は、取る  
② 一重括弧なしに二重括弧が使われている場合は、一重括弧に変更  
③ 複数の出展者が同列で列挙する場合は、読点で区切る  
④ 感嘆符、疑問符の後ろは、原則、スペースを空ける

# ■応募申請フォームへの記入①

応募申請フォームに記入する内容をまとめました。

項目	内容	
出展者の名称 (※公開する情報)	出展者の名称を日・英で記入してください。(日表記は25字以内、法人格は省略)	(テキスト入力)
上記団体のウェブサイトのURL	出展者の公式サイトがあれば、URLを記入してください。	(テキスト入力)
企画タイトル (※公開する情報)	企画タイトルを日・英で記入してください。(日表記は25字以内、全体を「」で囲わない)	(テキスト入力)
出展者の属性	出展団体の属性を選択肢から1つ選んでください。該当がない場合は「その他」を選択してください。	<input type="radio"/> 大学・研究機関 <input type="radio"/> 学校関係(小中高等) <input type="radio"/> 科学館／博物館 <input type="radio"/> メディア <input type="radio"/> 企業 <input type="radio"/> 行政機関 <input type="radio"/> NPO／NGO等 <input type="radio"/> 組織ではない(有志の集まり等) <input type="radio"/> その他
代表者	氏名／所属を記入してください。 ※法人格は省略	例) 理科一郎(××機構○○部)
	メールアドレスを記入してください。	(テキスト入力)

## ■応募申請フォームへの記入②

項目	内容	
窓口担当者 ※採択通知の送付先、及び事務的なやり取りを行う方	氏名／所属を記入してください。 ※法人格は省略	例) 科学次郎(××機構○○部)
	メールアドレスを記入してください。	(テキスト入力)
	電話番号を記入してください。	(テキスト入力)
出展実績	サイエンスアゴラでの出展実績を選択肢から選んでください。	○初めて出展する ○一度出展経験がある ○複数回の出展経験がある
出展形式	出展の形式を選択肢から選んでください。 ※オープンスペースのタイムスケジュールは、推進委員会及び主催者側で決定しますが、対応困難な日時がありましたら、特記事項欄に記入してください。	○オープンスペース60分1枠 ※無料 ○オープンスペース90分1枠 ※無料 ○ブース1小間 ※無料 ○ブース2小間 ※有料2万円
出展の目的及び企画概要	あなたの企画における社会とのつながりや、社会課題の解決・価値創出の観点も踏まえながら、出展者として来場者との対話を通じて何を徳たいか、また来場者に何を提供できるのかといった目的と企画の概要を具体的に記入してください。(500字以内)	(テキスト入力)

## ■応募申請フォームへの記入③

項目	内容	
企画紹介文 (※公開する情報)	企画の魅力を伝えられるような紹介文を記入してください。(100字以内) ※詳細は募集要項21ページを確認してください。	例) AIを活用した災害予測ってどういう仕組み？シミュレーション体験を通じて、私たちの暮らしを守る最新技術を学べます！防災×テクノロジーに興味がある人、ぜひ参加してね！(88字)
キーワード	企画の内容を表すキーワードを3つ以内で記入してください。 ※ジャンル分け及びキュレーションを行う際のインプット情報とします。	例) 環境問題、生物多様性、感染症対策、ウェルビーイング、STEAM、伝統技術、キャリア構築、サイエンスコミュニケーション、メタバース、宇宙、ロボット…
企画の難易度 (※公開する情報)	来場者が企画参加の目安となるよう、サインスペースに表記します。選択肢から難易度表記を選んでください。	<p>👉 : まろやかでやさしい味わい、予備知識ゼロでも安心。子供から大人までまずはひとくち、科学の世界を召し上がれ。</p> <p>👉👉 : もう一步踏み込んで、科学の面白さをより詳しく知りたい、味わいたい方に。好奇心がじわっと広がります。</p> <p>👉👉👉 : 専門的な内容をじっくりと、知的好奇心にビリッと刺激を。本気の科学トークに挑む覚悟はOK？</p>

## ■応募申請フォームへの記入④

項目	内容	
想定している来場者	<p>あなたの企画に、どのような人が来場することを前提としていますか。以下の選択肢から選んでください。(※主なターゲット層)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 小学生以下</li> <li>• 中学・高校生</li> <li>• 高専・専門学校・短大・大学・大学院生</li> <li>• 研究職(人文・社会科学系)</li> <li>• 研究職(自然科学系)</li> <li>• 会社員等(専門・技術職)</li> <li>• 会社員等(事務職)</li> <li>• 教職</li> <li>• その他</li> </ul>
ターゲット層にあわせた内容設計	<p>ターゲット層に応じて体験や対話を楽しめるように工夫した点や、来場者の関心や理解度に応じて適切な体験や対話ができるように工夫した点を、具体的に記入してください。(300字以内)</p>	(テキスト入力)
挑戦性・獨創性	<p>来場者に「驚き」や「感動」を与えるために、この企画ならではのアイデアやチャレンジしたことは何ですか。過去に出展経験がある場合は、以前の出展内容と比べ改良した点や新たな試みに挑戦した点を詳しく記入してください。(300字以内)</p>	(テキスト入力)
対話への姿勢	<p>来場者との対話を促し、双方向のコミュニケーションを生み出すためにどのような工夫をしているか記入してください。(300字以内)</p>	(テキスト入力)

## ■応募申請フォームへの記入⑤

項目	内容	
企画進行の段取り	来場者が飽きずに興味を持ち続けるための当日の企画進行の段取り、時間配分について記入してください。(200字以内)	(テキスト入力)
	来場者を引きつける視覚的な工夫を意識し、持ち込む展示物や各種の配置、配付資料等、詳細なイメージ画像を貼ってください。(写真歓迎)	
	過去に実施したイベント・企画の記録のURL(公開動画やブログ等)	(テキスト入力)
	該当する事項があればチェックしてください。	1リットルを超える水の使用／0.5kWを超える電気の使用／生き物の持ち込み／実費の徴収や物販の実施／飲食物の提供／音や光、におい等の発生／熱源の使用(裸火は不可)／薬品の使用／その他
	上記のいずれかを選択した場合は、具体的な内容を記入してください。	(テキスト入力)
倫理審査の要否	個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査・行動調査(個人履歴・映像を含む)、来場者からの提供を受ける試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる企画内容ですか	

## ■応募申請フォームへの記入⑥

項目	内容	
登壇者・説明員等の情報	ワークショップ等セッション形式の場合は登壇者情報を、ブース出展の場合は説明員や特別ゲストについて記入してください。(交渉中の記入も可)(300字以内)	(テキスト入力)
運営	【企画実施時】当日のスタッフの人員構成を記入してください。	(テキスト入力)
英語対応	英語対応が可能ですか。英語での企画説明や説明資料の日英併記など、何らかの工夫を推奨します。	例) 簡単な英語であれば出展者が説明可能／資料であれば日英併記可能／対応できない等
広報計画	予定している広報活動にチェックしてください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS</li> <li>・ウェブサイト、ブログ</li> <li>・メールマガジン</li> <li>・ポスター、チラシ等の配布</li> <li>・他のイベントでの告知</li> <li>・その他(自由記述)</li> </ul>
	独自の広報戦略や集客方法について具体的に記入してください。また、アゴラを含む過去のイベントにおける集客実績があれば記入してください。(200字以内)	(テキスト入力)

## ■応募申請フォームへの記入⑦

項目	内容	
SNSアカウント	企画の情報発信を行うアカウント名を記入してください。	(テキスト入力)
出展者交流会	出展者交流会について、参加の意思及び希望する内容等について記入してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加意思:参加／不参加／未定</li> <li>・開催時間:～1時間、～1時間半、～2時間</li> <li>・内容:希望する内容(フリー記述)</li> </ul>
特記事項	オープンスペースの対応困難な日時などがある場合は記入してください。	テキスト入力

### (お願い)ダイバーシティ・アクセシビリティの配慮について

ダイバーシティ推進の観点から、登壇者のメンバー構成においては、可能な範囲で性別やバックグラウンドのバランスにご配慮いただけますと幸いです。

また、アクセシビリティ向上の取り組みとして、1階ステージには音声認識によるリアルタイム字幕ツールの導入や、会場内に手話通訳者の派遣等を検討しています。出展者の皆様におかれましても、来場者が年齢・性別・身体的特性・言語・専門知識の有無に関係なく科学技術を楽しめるよう、文字を大きく・見やすくする、筆談対応、展示物の高さ調整、翻訳アプリの準備等、できる範囲でのご協力をお願いいたします。